

打合議事録		作成日	2017年09月28日(木)
		作成者	株式会社タニタ 坂田
開催内容	アルコール検知器協議会 第3回業務委員会		
開催日時	2017年09月28日(木) 14:10~15:40		
出席者 (敬称略・順不同)	<p>■座長 中央自動車工業：酒井委員長  エフアイエス(常深)サンコーテクノ(坂口)、新コスモス電機(弘田)、タニタ(望月、坂田)、中央自動車工業(浜本、高橋)、テレニシ(東野)、東海電子(杉本、坂田、彦田)、東洋マーク製作所(山本、山内)、パイアール(藤沢、小泉)、フィガロ技研(川畑、四方)、</p>		
議事	<p>1)業務委員会 スケジュールの確認  2)ご提出いただいたQ&amp;A(J-BACホームページ用)  3)白ナンバー(一般企業)への啓蒙  4)広報活動  5)その他</p>		
議事内容	<p>1)業務委員会スケジュールの確認  ○第4回 11月2日 東京 於：ドコモシステムズ様  ○第5回 12月7日 大阪 於：テレニシ様</p> <p>2018年  ○第6回 3月14日 東京 於：未定  ※第5回までに確定する</p> <p>2)Q&amp;Aについて  ○「アルコール測定値：0.05未満の問と回答について」  ・設問文章中の「取扱説明書」の部分を削除した方が良い  ・回答文章は法令を絡めた文章に変更した方が良い  →上記内容を別途提示して最終確認の連絡を入れる  また、他の文章でも若干の修正が必要と思われる部分があるので  合わせて最終版として提示する</p> <p>3)白ナンバー(一般企業)の対応について  決定事項  ○バナー広告(全日本交通安全運転協会)  2017年12月1日~2018年2月28日までの三か月、費用は30,000円/月  ○アルコール検知器使用の推奨  安全運転管理者講習で使用するテキストに掲載する</p> <p>報告・確認事項  ○全日本交通安全協会HP上でのアルコール検知器販売について  ・バナー広告等の商談の際に検知器自体の販売に関して商談を実施  ・協会内で検討の結果、「アルコール検知器協議会の認定品であれば取り扱う」と連絡があった  全日本交通安全協会が販売をすることで、各都道府県の協会への促進につながるの、実施したい  →普及・啓蒙活動になるので、進めるべき  →商品に不具合が発生した場合、協議会に不都合は起きないか？  →商品自体の不具合は各メーカーで対応する内容では？  →ありえない事だが、認定されていない商品を認定しているとして協議会が推奨した場合は  その品位が疑われるが、認定されていないものを推奨することはない  →今後、第三者機関による認定制度も控えているので、協議会としても問い合わせが入った  場合を想定して対応を検討しておく必要があるのではないか？</p> <p>・販売に関しては進める  →販売に関しては協会側と各メーカーで進められるように提案をするが、最終的にどの商品を取り扱う(販売)するかは協会側の判断となる  →特定の機種のみ取扱 NGの場合、理由を明確にさせていただき、場合によっては全商品 NGの対応をするべきでは？  →認定品すべてを採用するかは協会側の判断であり、協議会から採用に関して抗議するようなことは通常は無いと考えている  →アルコール検知器協議会として採用していただく事を検討するべきでは？  →「協議会の認定品であれば取り扱う」と話されている  全ての商品を採用するかどうかは全日本交通安全協会側の判断である  →認定品は全て公平に取り扱って欲しい</p> <p>・認定品の告知方法は  →アルコール検知器協議会HPの認定機器紹介ページにリンクさせる。</p> <p>※確認事項(委員長)  ○認定品の全てを取り扱っていただけるのか確認をする</p>		

4) 広報活動

○参加予定

- ・10月24日 第12回NASVA安全マネジメントセミナー
- ・11月1日 第66回中央技術委員会全国大会（日本バス協会）

→NASVAは事前搬入が出来ず、当日搬入となってしまうので商品の取りまとめをお願いしたい

→サンコーテクノ社にて対応

→詳細、参加等に関してはメールにて連絡する

5) その他

○リーフレットの改定に関して

- ・制作してから時間がたち、記載情報も古くなってきている。取り急ぎ加盟企業と認定機器の追加をし10月24日に間に合わせる形で一旦更新する。

その他項目の更新については、業務委員会で要望等の確認を行う。

以上